

各種仕上げの仕様について



複雑形状可

【ヒートカット】※標準 3mm幅

sacom worksの刺繍パッチのフチの仕上げの基本はヒートカットです。色数が多く複雑な形状も切り抜ける、ロック加工より丈夫などの利点があります。独自の「二重ツイルヒートカット」の開発により、美しい仕上がりが出来るようになりました。



【ロック加工(メロウエッジ)】 約3mm幅

専用のロックミシンと糸を使って処理する方法です。メロウエッジ(メローエッジ)とも呼ばれ、ミリタリーパッチに多用されますが、複雑な形状の処理には向かず、色が少ない、フカフカした糸を使うので傷みが早いなどの弱点があります。sacom worksにも機材がありますが、退役予定です。



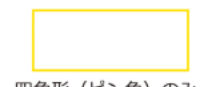
基本形のみ



基本形のみ

【ハンドカット】 3mm幅

ハサミでフチのギリギリを切る方法です。見た目はヒートカットのようで、ヒートカットよりやや耐久性が高いですが、手間がかかる加工なので割増しとなります。また、複雑な形には向かず、切り口にホコリが溜りやすいです。



四角形(ピン角)のみ

【織り込み】

縁を折って、別のミシンでベルクロ等を縫い付ける方法です。四角形のみ対応可能。割増しとなります。



【ベルクロ(マジックテープ)】

ベルクロのオスを縫い付けることで取り外し可能なパッチにできます。自衛隊やサバイバルゲーム業界などでは標準的な仕様となっています。取り扱いについてP14をご覧ください。



【熱接着シート】

アイロンを使って圧着することで針やミシンを使わずに取り付けができますが、失敗したときのリスクなど、以外と難しい面もあります。詳細は次のページをご覧ください。



【クリップ/安全ピン取り付け】

スポーツの審判やイベントスタッフ向けパッチなどでご依頼いただくことがあります。クリップと安全ピンがセットになったパーツを、接着剤と強力両面テープを併用して取り付けます。



【縫い付け】

手縫いまたはミシンで縫い付けする方法です。縫い付けが難しい場合、ご近所のお直し屋さんなどもご活用ください。

熱接着シートの取り付け方

③位置を決めて仮止め



①衣類のタグを確認

【熱接着できない表示】

アイロン仕上げ禁止

【熱接着できない素材】
薄手のナイロン生地
サテン(スカジャンの素材)
※溶けたりヨレたりします。

剥がして
台紙を
よしっ!

確認
よしっ!

②熱接着シートの台紙を剥がす

台紙は既に剥がれていることもあります。特に問題はありません。

④アイロンと 充て布を準備 やけどに注意!

アイロンは
スチームなし
中温設定で

約20秒プレス!!

アイロンは
平らな部分で

アイロン台は足を置く

⑤体重をかけて熱を加える

【当て布】
・ハンカチ
・バンドナ
・クッキングシート

【免責事項】アイロン熱接着は一発勝負です！熱接着ワッペンを剥がすと、衣類等にノリ(接着剤)が残ります。失敗による衣類の汚損や、アイロン、マチ針の使用などによる怪我の補償は致しかねます。